

マツキヨ通信

2019年初春
2019年
1月1日発行

発行：まつや清を応援する会 〒420-8390 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A
TEL:054-209-5677 mail:chiky_house@yahoo.co.jp

静岡市議会議員

まつや清

静岡市議会市民環境教育委員会 競輪場運営協議会所属
議会運営委員会オブザーバー 各派代表者会議オブザーバー
静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長

緑の党
グリーンズジャパン



充分な審議もなく国会で水道法（民営化）の改正！
「コンセッション方式は導入しない」（静岡市上下水道管理者）
人口減・老朽・耐震に備え 2019年～30年上下水道経営戦略
2020年15%水道料金引上げ！
20年、24年、28年3回で総額約239億円 棚上げすべき！



まつや: 経営戦略の目指す姿とは何か。

上下水道管理者: 施設の老朽化、人口減少に伴う収入の減少が見込まれる中、住民サービスを安定的に継続するため、アセットマネジメントの観点から更新需要を把握し、2019年～30年の経営戦略として「投資計画」と「財政計画」を策定した。

まつや: コンセッション方式の導入についてどのように考えているか。

上下水道管理者: 委託契約期間が長期になるので、職員の技術継承が途絶えることや、巨大地震などによる被災時に、庁内他部局、他の行政機関、地元自治会組織などと緊密に連携した迅速な対応などに課題が残るため導入はしない。

まつや: 管路更新及び事業費の考え方を伺う。

上下水道局長: 2018年6月の大岩町の漏水事故の水道管は、布設後40年だったが、一方で80年以上使用できる管もある。2014年からの埋設土中の腐食状況調査から水道管の「想定使用年数」を平均83年と設定し、水道管総延長約2,600kmを年間31km、83年で更新することとした。経営戦略期間内12年間の83年を超えた水道管約200kmの解消事業費は約580億円。耐震工事などそれ以外の経費を含めた総事業費は約882億円にのぼる。

まつや: 料金引上げというが、企業債残高対給水収益比率は、18政令指定都市平均の約1.5倍と高い。56億円に膨れ上がった上下水道庁舎建設費など過大投資はなかったのか。

上下水道局長: 要因の1つ目は、優先度の高い旧静岡市・旧清水市など合併に伴う湯水対策として清水区への北部ルートや南部ルートの整備(110億円)、由比・蒲原地区の老朽化浄水施設の更新を推進したため。2つ目は安価な水道料金だ。合併に伴い2008年に実施した料金一元化以降、料金改定を行っていない。指定都市では安い方から3番目。

まつや: 料金引上げの理由に施設更新・老朽化を挙げているが何故、更新率・耐震化率は低い現状にあるのか。

上下水道局長: 合併に伴う施設整備などを優先してきたことがある。

まつや: 2020年、24年、28年の料金引上げで総額はどれくらいになるか。増加率は。

上下水道局長: 総額で約293億円、29%の増加率になる。

まつや: 3回の引上げの額は現状の52%増加になるが、この状態では市民の理解をえることはできない。棚上げすべきではないか。

上下水道局長: 料金の見直しは必要だ。2019年度中に具体的な検討を行いたい。

コンセッション方式とは？

公共施設の所有権を市に残したまま運営権を20年以上の長期にわたって民間事業者が付与する委託方式で官民連携の一つの形態。浜松市が2018年4月から下水道事業を全国で初めてフランスの多国籍企業・ヴィオリア社を代表とするSPC（特別目的会社）にコンセッション方式で委託している。上水道事業にも導入すると検討していたが2020年2月まで延期した。

城北から

あさばた沼
伝説「沼のぼあさん」絵本
先着20名に進呈

1月20日城北学区体育委員会主催の「ふれあいウオーキング」が開催されます。

そのコースに、伝説「沼のぼあさん」にまつわる諏訪神社があります。城北在住の芹沢幸枝さん(人形劇団「星の子」代表)からこれを題材にしたオリジナル作品「沼のぼあさん」の絵本をプレゼントしたいとの連絡がありました。まつや清はこの絵本の挿入写真チームの一員でした。



ホテルの里づくり勉強会 2/23

昨年、発足した「ベーター安東川ネットワーク」は、遊水地事業・安東川エリアをオニバスが生育し、ホテルが鑑賞できる自然とのふれあいの場にしよう活動を進めています。2月23日(土)10:00(予定)から、中央高校で「ホテルの里」作り勉強会が開催されます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ先:地球ハウス
TEL054-209-5677(月・水・金 10:00~15:00)

市長選 争点



4月市長選挙 田辺市長、3選出馬表明
田辺市政の4年間、是々非々で臨みました！
1月—2月の「わいわいミーティング」で検証！

11月30日、市議会本会議において早川清文議員の質問に「3選出馬」を表明。まつや清は、田辺市長とは「成長・拡大から持続可能・成熟社会への転換」という時代認識を共有しています。この認識とずれる施策や「市民文化会館再整備とアリーナ構想」、「南アルプスとリニア新幹線」などは是非々で臨んできました。市民の皆さんと田辺市政を「わいわいミーティング」で検証します。ご参加ください。

市長選挙争点 市民文化会館の再整備
敷地狭く アリーナ構想は白紙 第3回検討委
市民の声が届く！新たな論点をどう考えるか？！

第3回「駿府町地区の文化・スポーツを核としたまちづくり検討委員会」(2018年12月17日)では、アリーナ建設前提の3案と大規模改修案について検討した結果、「あの敷地でのアリーナ建設は狭すぎる。交通渋滞、4年半の休館期間など無理がある。」として、「白紙化」を決定しました。1月17日の第4回検討委員会で最終答申案が協議されます。

ただ、アリーナありきで進んで来たため、トイレの改修や新しい機能を含み込んだ大規模改修の中身や82億円の改修費などは全く議論されていません。改めて論点として①駿府町地区のまちづくりにおける年間48万人が利用し、40年間の市民の記憶が集積された昭和の建造物としての市民文化会館の役割とは何か。②大規模改修による65年以上の長寿命化なのか、4年半の休館前提の建替えなのか、が浮上します。検討委員会はアリーナの必要性は否定していないため、新たな建設地議論も残りました。

「市民文化会館の再整備とアリーナ構想」について、まつや清は、2018年2月議会でただ1人反対の総括質問を5月には市民有志による「公共施設を考える会」の発足に関わり、9月議会での総括質問で8つの論点を提示し、「アリーナ複合化案ありき」の田辺市長から、「まちづくり検討委員会の意見を踏まえ判断したい」(2018年9月28日)とのトーンダウンした答弁を引き出しました。11月18日には、公共空間を考える会(公共施設を考える会名称変更)は、「街のデザイン・フォーラム」を開催し、その中で「アリーナ前提の建替えに4年半必要、大規模改修では1年半」の休館期間テーマに利用者団体関係者が意見交換をしました。市民文化会館再整備については、建設がはじまった歴史文化施設や駿府城天守台跡で発見された秀吉配下の中村一氏の「金のシャチホコ」もあり、駿府城公園一帯を歴史文化拠点とした議論を優先するべきではないでしょうか。



市長選挙争点 南アルプスとリニア新幹線
河川法・大井川管理権を楯に対抗する 川勝知事！
エコパーク林道管理条例を活かせるのか 田辺市長！

2018年9月、JR東海は南アルプス・リニアトンネル工事宿舎建設資材の運び込みを開始したもののリニアが通過する1都6県で唯一、南アルプス・リニアトンネル本体工事に着手できていません。日経ビジネス(2018年8月20日号)の特集記事「速ければいいのか 陸のコンコルド」で川勝平太知事の「ルートを変えた方がいい」という反対論が紹介され、静岡県はどこまでJR東海との対決を続けられるのか、注目を浴びました。知事のその姿勢は11月の記者会見での「静岡県は河川法に基づく大井川の橋やトンネル工事の許認可権を持つ」や11月のリニア中央新幹線環境保全連絡会議でも、一貫して「大井川の水、全量回復」、「大井川上流部の自然環境保護」と極めて明確で、JR東海を慌てさせています。

一方で、田辺市長は2014年の「南アルプスエコパーク理念との整合を求める静岡県議会決議」、「南アルプスエコパーク林道条例」により全国自治体で唯一の「水資源調査」など環境調査を継続し、「大井川の水」「南アルプスの自然環境」を守るために奮闘してきました。ところが、2018年6月の「140億の井川トンネル工事費はJR東海が全額負担」とする協定には「行政手続きに速やかに対応」が盛り込まれ「林道条例の理念を骨抜きにする路線転換ではないか」と田辺市長への失望が広がりました。まつや清は、9月市議会総括質問で静岡市の基本姿勢を問い質しました。冬の工事、林道拡幅工事や本体工事について、南アルプスエコパークの理念に基づき、どのように対処していくのか、静岡市の姿勢が問われます。

2019年は、リニアトンネル本体工事が始まるか否かの正念場の年になります。



9月25日●南アルプスとリニア新幹線を考える市民ネットワークのリニア準備工事着工に対する抗議活動(SBSイブアイずおか)

11月議会総括質問

静岡県2015年～17年の3年間で外国人技能実習生702人～1184人、482人増加(+68%)47年ぶりの社会人口増の背景
経済局長答弁「派遣された企業にヒアリングなど実態調査を行う」

2018年、臨時国会で強行可決された出入国管理法の改正に関連し、11月議会で「外国籍住民との共生社会」について総括質問をしました。人口減少・労働力人口不足は、静岡県でも「建設」「介護」分野で顕著です。経済局長の答弁は、この法律改正で「人材確保の一助」となるが「日本語など生活全般への諸課題対応が必要」であるでした。静岡県には技能労働者を派遣する8つの監理団体があり、60社近い企業に派遣されています。国会では技能実習生の劣悪な就業環境が明らかにされ、法律改正の背景に「人間として」というより「使い捨て労働力」として活用したいという魂胆が見え隠れしています。技能実習生の国別1位はベトナム、473人、2位中国、395人、3位フィリピンの156人です。昨年10月28日に、静岡済生会総合病院で「健康保険証がなくて不安」、「母国語で健康診断を受けたい」という外国籍住民の願いを実現するために、第21回「外国人の無料健康相談と検診会」が開催され、157人のボランティアのもと117人が受診しました。この活動をまつやの質問で紹介しましたが、発起人として発足時から事務局を担ってきました。



総合交通対策特別委員会

地域の実情に合わせた総合交通体系のあり方について
1月28日 田辺市長に提言書の提出

2017年から2年間に渡る特別委員会での調査研究を踏まえて、委員会は昨年12月13日に「地域の実情に合わせた総合交通体系のあり方」の提言書をまとめました。2016年は宇都宮市(タクシー活用の地域内交通)や柏市(オンデマンドタクシー)での公共タクシーの活用を視察。17年は武蔵野市(ムーバス)と川崎市(総合交通計画)の先進市を訪問すると共に、静岡市交通政策課やタクシー業界へのヒアリングを実施しました。残念なのは静岡鉄道株式会社がヒアリングに応じなかったことです。

議員提案 静岡市がん対策推進条例検討会

12月14日～1月15日 パブリックコメント募集！
詳細は市議会ホームページへ 2月議会に条例提案します！

議論になった点は、①名称-「がん克服条例」⇒「がん対策推進条例」に変更、②教育現場に関わる第10条での喫煙・受動喫煙の取り扱い⇒入れ込む、③第20条の計画策定については、「静岡県がん対策推進基本計画の趣旨を踏まえ静岡市計画を策定する」で確定。少数会派ですが、繁田和三会長の運営のもと①から③まで、まつや清の意見が反映されたことに感謝いたします。

写真で見る
まつや清
活動の日々



8月27日～29日●立憲ネット「韓国と日本の自治体議員外交」ソウル市議会議員と地方自治について意見交換



9月29日●自治体議員立憲ネットワークの議員484名まつやの提案により沖縄県知事選挙に向けての意見広告掲載(琉球新聞・沖縄タイムズ掲載)



11月3日●大道芸ワールドカップ in 静岡 今年も「天使の羽」ボランティアでまちをきれいにゴミ拾い活動



12月1日●北安東4丁目+城北町内会の避難所・中央高校にてプール水活用の水洗トイレ設置訓練で盛り上がる！



12月6日●清水エスパルス 鄭大世選手、金子翔太選手、大榎克己 GM 補佐が議会を表敬訪問



12月8日●年末恒例のパーティー「きよしとこの夜」立憲民主党の川田龍平参議院議員、県政改革をめざす杉山淳さん、松井優介さんが参加

♡ 幸せな未来を ♡
一緒に創ろう！



緑の党静岡県本部 事務局長
マツキヨ サポーターズ くらぶ 共同代表 山田久美子



2017年春、まつや清はこのスローガンの下、4,503票を得て静岡市議になりました。政治は議員だけのものではない。市民、議会、行政がつながり、誰もが幸せといえるまちづくりを共にすることが大切だと考え、「地球ハウス学校」、「わいわいタウンミーティング」を立ち上げました。「地球ハウス学校」は、市民が議員と共に学びながら市政に参加することを目的に毎回ひとつテーマを決め、月一回開催しています。静岡市内の社会活動について学び、市政に活かすと同時にさまざまな問題に詳しい草の根の市民を育てることも目的のひとつとしています。「わいわいタウンミーティング」は、議員と共に議会質問のテーマを考えます。暮らしの課題を共有し合うことで、より生活に密着した市民の声を政治の場に届けることができます。議員経験30年の松谷さんだからこそのわかることもあるのが魅力です。市民一人ひとりが、地域の中で横につながりながら、地域の特質や一人ひとりの課題を共有し、共に考え、共に意見し、共につながり、共に行動し、共に創る。このふたつの場が、幸せな未来創りにつながることを楽しみにしています。

期末手当増額分受け取り拒否

3万1657円を法務省に供託

新潟市、堺市では市長、議員の引上げ提案なし

2018年11月議会では、人事委員会による「公務員期末手当で引上げに自動的に連動した議員報酬の期末手当の引き上げ」には、以下の2点の理由で反対し、引上分3万9,780円から所得税8,123円を差し引いた3万1,648円を法務省に供託しました。

理由の第1としては、市職員の期末手当の増額は、人事委員会により民間との格差があることの客観性を担保していますが、議員については、特別職等報酬審議会への諮問によって総額の妥当性を判断すべきだと考えるからです。まつや清は、3年前から、新潟市のような期末手当も対象とする条例改正を田辺市長に提案しています。

第2は、2019年10月には、消費税10%が予定され低所得者や経済に大きな影響があるにもかかわらず、政治家が自らの報酬増を勝手に決めることに問題があるからです。低所得者の優遇や景気対策と称して、「軽減税率」や「ポイント還元」、「プレミアム商品券」など過剰な「バラマキ」には疑問を感じます。政令市20市の中で、引き上げ提案をしなかったのは、市長が主導した堺市と条例に準拠した新潟市のみです。因みに、月額議員報酬と期末手当を合わせた年収は、最下位が新潟市で静岡市は16位です。

9月-10月 決算・補正予算常任委員会報告

小中学校 PTA への参加は強制でなく任意参加
全市内 PTA 実態調査へ

市民環境教育委員会(市民局・環境局・教育委員会)は、2017年度決算議案と小中学校のエアコン設置とブロック塀の再整備の予算が主要議題でした。教育委員会では、静岡県PTA連会長が各学校のPTA会長に通知した「PTAは自主参加」という問題、小中一貫教育制度移行への経緯や英語教育におけるALTの役割、就学支援などについて、市民局関係では、自治会役員の担い手不足の実情調査について、LGBTの方々に配慮した市民窓口のマニュアル作成、マイナンバー使用によるコンビニでの住民票発行の費用対効果など。環境局関係では、南アルプス水資源環境調査、沼上清掃工場灰溶融炉の廃止についてなどです。補正予算審議では、学校に設置するエアコンはガスか電気か、設置の順番、入札参加業者の選定、トイレ洋式化事業との優先順位、設定温度などが徹底審議され、全会派一致で可決されました。

また、体育館のクーラーについては、教育委員会からは、使用時間を午前中にし、窓の開閉などで対応する、危機管理総室から災害対策として体育館への設置方針が提案されれば対応するとなりました。



11月-12月 決算・補正予算常任委員会報告

清水区生涯学習交流館についての陳情は
陳情者・全会派一致で取り下げに至る

補正予算で大きな事業は、エアコン設置費の39億円です。文科省の補助制度が確定したため、小学校をグループ分けし、どの順番で設置していくのか設計協議が始まっているとのことでした。ただ予算執行は、来年度となるため全額繰越明許措置(年内に支出が終わらない予算)が取られました。

もう一つの大きな議題は、清水区の生涯学習交流館の新たな運営方針を巡り、「静岡市と一元化するなら清水区の9条認定制度を(葵区・駿河区に)適用してください」との陳情でした。最終的には、陳情者・全会派一致で「取り下げ」となり、今後はパブリックコメントの結果や清水区利用団体との再度の協議を踏まえて2月議会に条例改正案を示すことができるか、否かが焦点となります。

旧清水市(清水区)は生涯学習交流館、旧静岡市(葵区・駿河区)は生涯学習センターで利用方法が異なり合併後も「1市2制度」で運営されてきました。旧静岡方式での一元化方針が示され清水区の住民の間では大きな問題となっていました。

静岡市議会 2月定例会会議日程

【2月8日～3月20日 41日間】

- 3/1・3/4・3/5・3/6 総括質問
- 3/8・3/11 総務委員会・企業消防委員会・市民環境教育委員会
- 3/12・3/13 厚生委員会・観光文化経済委員会・都市建設委員会

まつや清プロフィール

1951年 新潟県柏崎市生れ 静岡大学工学部中退
1987年 静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、
国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員(3期)

イベント・インフォメーション

- 地球ハウス学校 19:00～21:00 参加費500円
1/24(木) 税金のことをみんなで考える 山崎秀和さん
2/22(金) 歴史拠点としての駿府城公園のあり方 鈴木理久さん
3/29(金) ありのままの静岡を楽しむ 井上 泉さん
場所：地球ハウス(葵区鷹匠3-3-1 井口ビル2F)
申込み・問合せ：TEL:054-209-5676(地球ハウス)
- 原子力防災と保養のお話し&安定ヨウ素剤の自主配布会
3/9(土) 9:30～12:00 参加費500円
場所：静岡市番町市民活動センター(静岡市葵区一番町50)
問合せ先：090-3954-6563(小笠原)